

大学番号 私立1

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部^{注1}の設置

届出

札幌学院大学 心理学部 臨床心理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人札幌学院大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

| | |
|----------|--|
| 担当部局（課）名 | 政策推進課 |
| 職名・氏名 | 課長 <small>クボ マサシ</small> 久保 真志 |
| 電話番号 | 011-386-8111 |
| （夜間） | 011-386-8111 |
| e-mail | seisaku@ims.sgu.ac.jp |

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

| <臨床心理学科> | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 13 |
| 4. 既設大学等の状況 | 14 |
| 5. 教員組織の状況【省略】 | 15 |
| 6. 附帯事項等に対する履行状況等 | 28 |
| 7. その他全般的事項 | 29 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人札幌学院大学

(2) 大学名

札幌学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒069-8555

北海道江別市文京台11番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|-----------------------------------|---|--|
| 理事長 | (イノウエ トシヤ) 井上 俊彌 (平成26年5月) | | |
| 学長 | (ツルマル トシアキ) 鶴丸 俊明 (平成25年4月) | (カワニシ クニヒト) 河西 邦人 (平成31年4月) | 前任者の任期満了に伴う変更 平成31年4月1日(元) |
| 学部長 | (ムロハシ ハルミツ) 室橋 春光 (平成30年4月) | | |
| 学科長等 | (サノ トモヤス) 佐野 友泰 (平成30年4月) | (オオミヤ ヒデトシ) 大宮 秀淑 (平成31年4月) (ムラサワ ワタリ) 村澤 和多里 (令和2年4月) | 前任者の副学長就任に伴う変更 平成31年4月1日(元) 前任者の任期満了に伴う変更 令和2年4月1日(2) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 学生募集の停止について | 備考 |
|-----------------------------|-----------|--------|------|----------|------|---------------|----|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | | |
| 心理学部 臨床心理学科 学士（臨床心理学） | 文学関係 | 4年 | 95人 | 年次 一人 | 380人 | 新規入学者を 募集中 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 平均入学定員 超過率 | 開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|------------|------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|---------------------|------------------------|---------------------|---------------|------------------------------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | | |
| A 入学定員 | () [] | () [] | 95 (-) [-] | - (-) [-] | 95 (-) [-] | - (-) [-] | 95 (-) [-] | - (-) [-] | 95 (-) [-] | - (-) [-] | 1.00倍 | - | |
| 志願者数 | () [] | () [] | 434 (-) [3] | - (-) [-] | 646 (-) [8] | - (-) [-] | 749 (-) [19] | - (-) [-] | 492 (-) [13] | - (-) [-] | | | |
| 受験者数 | () [] | () [] | 433 (-) [3] | - (-) [-] | 621 (-) [7] | - (-) [-] | 723 (-) [19] | - (-) [-] | 481 (-) [12] | - (-) [-] | | | |
| 合格者数 | () [] | () [] | 271 (-) [2] | - (-) [-] | 293 (-) [4] | - (-) [-] | 230 (-) [6] | - (-) [-] | 182 (-) [5] | - (-) [-] | | | |
| B 入学者数 | () [] | () [] | 103 (-) [2] | - (-) [-] | 117 (-) [1] | - (-) [-] | 82 (-) [6] | - (-) [-] | 81 (-) [3] | - (-) [-] | | | |
| 入学定員超過率 B/A | | | 1.08 | | 1.23 | | 0.86 | | 0.85 | | | | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 学 年 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 備 考 | | |
|-------------|------------|------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | | |
| 1年次 | [] () | [] () | 102 [2] (-) | - [-] (-) | 117 [1] (-) | - [-] (-) | 82 [6] (-) | - [-] (-) | 81 [3] (-) | - [-] (-) | | | |
| 2年次 | / | | / | | 98 [2] (-) | - [-] (-) | 116 [1] (1) | - [-] (-) | 82 [5] (1) | - [-] (-) | | | |
| 3年次 | | | | | / | | / | | 96 [2] (-) | - [-] (-) | 116 [1] (1) | - [-] (-) | |
| 4年次 | | | | | | | | | / | | / | | / |
| 計 | | | | | 102 [2] (-) | 215 [3] (-) | 294 [9] (1) | 372 [11] (2) | | | | | |

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | 主な退学理由 (留学生の理由は[]書き) | |
|------------|---------|---------|--------|--------|--------------------------|---|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | | |
| | | | | うち留学生数 | | |
| 平成29年度 | 人 | 人 | 平成29年度 | 人 | 人 | |
| 平成30年度 | 102 人 | 5 人 | 平成29年度 | - 人 | - 人 | 他大学受験(1名)、進路変更(2名)、経済的事情(1名)、 人文学部人間科学科への転学科(1名) |
| | | | 平成30年度 | 5 人 | 0 人 | |
| 令和元年度 | 215 人 | 3 人 | 平成29年度 | - 人 | - 人 | 修学意欲の低下(1名) 経済的事情(1名)、進路変更(1名) |
| | | | 平成30年度 | 1 人 | 0 人 | |
| | | | 令和元年度 | 2 人 | 0 人 | |
| 令和2年度 | 294 人 | 3 人 | 平成29年度 | - 人 | - 人 | 進路変更(1名)、その他(1名) [修学意欲の低下(1名)] |
| | | | 平成30年度 | 2 人 | 0 人 | |
| | | | 令和元年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和2年度 | 1 人 | 1 人 | |
| 令和3年度 | 372 人 | 0 人 | 平成29年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 平成30年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和元年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和2年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和3年度 | 0 人 | 0 人 | |
| 合 計 | | 11 人 | | 11 人 | 1 人 | |

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】 <該当なし>

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{102} = \boxed{4.90} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{215} = \boxed{1.39} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{294} = \boxed{1.02} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{372} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 臨床心理学科>

(1) - ① 授業科目表

【届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | | |
|----------------|----------------|------------------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 教養科目 | 基礎科目群 | 英語ⅠA | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅠA | 1後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅠB | 1前 | 1 | | | | | | | | 3 | |
| | | 英語ⅠB | 1後 | 1 | | | | | | | | 3 | |
| | | 英語ⅢA | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅢB | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣA | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣB | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 論述・作文A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 2 |
| | | 論述・作文B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 2 |
| | | コンピュータ基礎A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | コンピュータ基礎B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小計(12科目) | - | | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | |
| | 人文・社会・健康・自然科目群 | 哲学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 倫理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 宗教学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 世界の言語と日本語 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 生命科学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 地学 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 地球の科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| 北海道史 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 日本国憲法 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 北海道社会論 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 教育学 | | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 現代の福祉 | | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 健康科学 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| スポーツと健康 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 障害学 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 小計(15科目) | - | | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | | |
| キャリア科目群 | 職業と人生Ⅰ | 1後 | | 2 | | | | | | | | 3 | |
| | 職業と人生Ⅱ | 2前 | | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | 職業と人生Ⅲ | 3前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 職業と人生Ⅳ | 3後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 企業の経営と仕事 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 小計(5科目) | - | | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | |
| 専門科目 | 専修基礎科目 | 心理学 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | | 心理学概説 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 小計(2科目) | - | | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 演習領域 | 臨床心理基礎ゼミナールA | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | |
| | | 臨床心理基礎ゼミナールB | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | 1 | |
| | | 臨床心理学概論A | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| | | 臨床心理学概論B | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールA | 2前 | | 2 | | 4 | 1 | 1 | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールB | 2後 | | 2 | | 1 | 5 | | | | | |
| | | 臨床心理学演習Ⅰ | 3前 | | 2 | | 5 | 6 | 1 | | | | |
| | | 臨床心理学演習Ⅱ | 3後 | | 2 | | 5 | 6 | 1 | | | | |
| | 小計(8科目) | - | | 16 | 0 | 0 | 6 | 6 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | 研究基礎領域 | 心理学研究法A(実験・調査法) | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 心理学研究法B(心理統計法) | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | パーソナリティ論 | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 心理アセスメント | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 心理学基礎実験 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | 2 | |
| | | 小計(5科目) | - | | 10 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| | 専修実習科目 | 臨床心理基礎実習(カウンセリング) | 2前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | 1 | |
| | | 心理アセスメント実習(知能・性格・発達検査) | 3前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | |
| 応用実習A(グループワーク) | | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 | | |
| 応用実習B(芸術療法) | | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | 2 | | |
| 小計(4科目) | | - | | 0 | 8 | 0 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 専修科目 | 臨床心理実習科目 | 3前 | | 2 | | 1 | 3 | | | | | | |
| | 心理学研究の倫理と関連法規 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 小計(2科目) | - | | 0 | 4 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | | |
| 専修科目 | 発達・教育心理学関連領域 | 認知心理学 | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 知覚心理学 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 学習心理学 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | 生理心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | 小計(4科目) | - | | 0 | 8 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | 発達・教育心理学関連領域 | 発達心理学A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 発達心理学B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 教育心理学 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | 教育臨床心理学 | 3前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 乳幼児心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 青年心理学 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| 小計(6科目) | | - | | 0 | 12 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | |

【令和3年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | | |
|----------------|----------------|------------------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 教養科目 | 基礎科目群 | 英語ⅠA | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅠA | 1後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅠB | 1前 | 1 | | | | | | | | 3 | |
| | | 英語ⅠB | 1後 | 1 | | | | | | | | 3 | |
| | | 英語ⅢA | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅢB | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣA | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣB | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 論述・作文A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 2 |
| | | 論述・作文B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 2 |
| | | コンピュータ基礎A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 3 |
| | | コンピュータ基礎B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 3 |
| | 小計(12科目) | - | | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | |
| | 人文・社会・健康・自然科目群 | 哲学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 倫理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 宗教学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 世界の言語と日本語 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 生命科学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 地学 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 地球の科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| 北海道史 | | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 日本国憲法 | | 2前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 北海道社会論 | | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 教育学 | | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 現代の福祉 | | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 健康科学 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| スポーツと健康 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 障害学 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 小計(15科目) | - | | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | | |
| キャリア科目群 | 職業と人生A | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 職業と人生B | 2前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 職業と人生C | 3前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 職業と人生D | 3後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 企業の経営と仕事 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 小計(5科目) | - | | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 専門科目 | 専修基礎科目 | 心理学 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | | 心理学概論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | |
| | 小計(2科目) | - | | 0 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 演習領域 | 臨床心理基礎ゼミナールA | 1前 | | 2 | | | 2 | 1 | | | | |
| | | 臨床心理基礎ゼミナールB | 1後 | | 2 | | | 1 | 2 | | | | |
| | | 臨床心理学概論 | 1前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | |
| | | 心理学的支援法 | 1後 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールA | 2前 | | 2 | | | 3 | 1 | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールB | 2後 | | 2 | | | 2 | 1 | 1 | | | |
| | | 臨床心理学演習Ⅰ | 3前 | | 2 | | | 7 | 3 | 1 | | | |
| | | 臨床心理学演習Ⅱ | 3後 | | 2 | | | 7 | 3 | 1 | | | |
| | 小計(8科目) | - | | 16 | 0 | 0 | 9 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 研究基礎領域 | 心理学研究法 | 1後 | | 2 | | | | | | | | |
| | | 心理学統計法 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | 感情・人格心理学 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | 心理的アセスメント | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | 心理学実験 | 2後 | | 2 | | | | | 1 | | 2 | |
| | | 小計(5科目) | - | | 10 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 専修実習科目 | 臨床心理実習科目 | 2前 | | 4 | | | 4 | 2 | | | | |
| | | 心理アセスメント実習(知能・性格・発達検査) | 3前 | | 2 | | | | 1 | | | 1 | |
| 応用実習A(グループワーク) | | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | 1 | | |
| 応用実習B(芸術療法) | | 3後 | | 2 | | | | 1 | | | 2 | | |
| 小計(4科目) | | - | | 0 | 8 | 0 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| 専修科目 | 臨床心理実習科目 | 3前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 心理実習 | 3後 | | 3 | | | | 5 | 2 | | | | |
| | 関係行政論 | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 小計(3科目) | - | | 0 | 7 | 0 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| 専修科目 | 発達・教育心理学関連領域 | 知覚・認知心理学A | 2前 | | 2 | | | | | 1 | | | |
| | | 知覚・認知心理学B | 2後 | | 2 | | | | | 1 | | | |
| | | 学習・言語心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | 1 | | |
| | | 神経・生理心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | 小計(4科目) | - | | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| | 発達・教育心理学関連領域 | 発達心理学A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 発達心理学B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| 教育・学校心理学A | | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| 教育・学校心理学B | 3後 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 乳幼児心理学 | 2休 | | 2 | | | | | | | | | | |

【届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|--|----------------------|--------------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 専門科目 | 専修科目 | 社会心理学A | 2前 | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 社会心理学B | 2後 | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | キャリアカウンセリング論 | 2後 | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 産業心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 集団心理学 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | コミュニティ心理学 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 臨床心理学的地域援助論 | 3後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小計(7科目) | - | 0 | 14 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| | 医療福祉領域 | 社会福祉論A | 1前 | 2 | | | | | | | | 5 |
| | | 社会福祉論B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 精神保健福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 障害者福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 児童福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 精神医学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | トラウマと災害の心理学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | リハビリテーション臨床 | 3休 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 医学概論 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 心理臨床特別講義(医療心理臨床関連) | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | 小計(10科目) | - | 0 | 20 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 | |
| 心理療法関連領域 | 心理療法A(探索的心理療法) | 2前 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 心理療法B(認知行動療法) | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 遊戯療法 | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 精神分析的な心理療法 | 3前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 身体心理療法 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 小計(5科目) | - | 0 | 10 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| 臨床心理学研究領域 | 心理学特殊講義A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 心理学特殊講義B | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 発達心理臨床A(幼児・児童・青年期臨床) | 2前 | 2 | | | 2 | | | | | | |
| | 発達心理臨床B(成人・老年期臨床) | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 非行心理学(司法・矯正心理学) | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 犯罪心理学 | 3休 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 家族心理学 | 2休 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | スクールカウンセリングの理論と実際 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 講読演習A | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 講読演習B | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 心理学課題演習 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 裁判心理学 | 3後 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 臨床心理学特別講義A | 4前 | 2 | | | 5 | 6 | 1 | | | | |
| | 臨床心理学特別講義B | 4後 | 2 | | | 5 | 6 | 1 | | | | |
| 小計(14科目) | - | 0 | 28 | 0 | 6 | 6 | 1 | 0 | 0 | 6 | | |
| 卒業論文 | 4通 | 6 | | | 5 | 6 | 1 | | | | | |
| 小計(1科目) | - | 0 | 6 | 0 | 5 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| 心理学関連科目 | 産業社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | ジェンダーの社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 家族社会学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 公的扶助論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 障害児・者教育論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | コミュニケーションスキルズ基礎 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 小計(6科目) | - | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |
| 合計(106科目) | - | 34 | 174 | 0 | 7 | 6 | 1 | 0 | 0 | 59 | | |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | | |
| <p>《教養科目》 「基礎科目群」から必修英語8単位を修得し、合計で32単位以上修得すること。 《専門科目》 ・必修科目である「演習領域」の16単位、「研究基礎領域」の10単位を修得すること。 ・「心理学基礎領域」、「心理臨床実習科目」、「心理臨床・実践職能科目」からそれぞれ2単位以上を修得すること。 これらの要件を満たし、合計82単位以上修得すること。</p> <p>上記の要件を満たし、教養科目(本学科指定以外の教養科目を含む)、専門科目(他学科開講の専門科目を含む)を合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))</p> | | | | | | | | | | | | |

【令和3年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|--|----------------------|--------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 専門科目 | 専修科目 | 社会心理学A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 社会心理学B | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | キャリアカウンセリング論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 産業・組織心理学 | 2後 | 2 | | | | | | 1 | | |
| | | 社会・集団・家族心理学A | 2休 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 社会・集団・家族心理学B | 3前 | 2 | | | | | | 1 | | |
| | | コミュニティ心理学 | 3前 | 2 | | | | | | 1 | | |
| | 福祉心理学 | 3後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 小計(8科目) | - | 0 | 16 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | |
| | 医療福祉領域 | 社会福祉論A | 1前 | 2 | | | | | | | | 5 |
| | | 社会福祉論B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 精神保健福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 障害者福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 児童福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 精神疾患とその治療 | 2後 | 2 | | | | | | 1 | | |
| | | トラウマと災害の心理学 | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | リハビリテーション臨床 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 人体の構造と機能及び疾病 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 健康・医療心理学 | 3後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 小計(10科目) | - | 0 | 20 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | | |
| 心理療法関連領域 | 心理療法A(探索的心理療法) | 2前 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 心理療法B(認知行動療法) | 2後 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | |
| | 遊戯療法 | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 精神分析的な心理療法 | 3前 | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | 身体心理療法 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 小計(5科目) | - | 0 | 10 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| 臨床心理学研究領域 | 心理学特殊講義A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 心理学特殊講義B | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 発達心理臨床A(幼児・児童・青年期臨床) | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 発達心理臨床B(成人・老年期臨床) | 2後 | 2 | | | | | | 1 | | | |
| | 司法・犯罪心理学A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 司法・犯罪心理学B | 3休 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | スクールカウンセリングの理論と実際 | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 講読演習A | 3前 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 講読演習B | 3後 | 2 | | | | | | 1 | | | |
| | 心理学課題演習 | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 裁判心理学 | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 臨床心理学特別講義A | 4前 | 2 | | | | 7 | 3 | 1 | | | |
| | 臨床心理学特別講義B | 4後 | 2 | | | | 8 | 3 | 1 | | | |
| | 小計(13科目) | - | 0 | 26 | 0 | 9 | 3 | 1 | 0 | 0 | 6 | |
| 卒業論文 | 4通 | 6 | | | 7 | 3 | 1 | | | | | |
| 小計(1科目) | - | 0 | 6 | 0 | 7 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| 心理学関連科目 | 産業社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | ジェンダーの社会学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 家族社会学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 公的扶助論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 障害児・者教育論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | コミュニケーションスキルズ基礎 | 2後 | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 小計(6科目) | - | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | | |
| 合計(108科目) | - | 34 | 179 | 0 | 10 | 3 | 1 | 0 | 0 | 57 | | |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | | |
| <p>《教養科目》 「基礎科目群」から必修英語8単位を修得し、合計で32単位以上修得すること。 《専門科目》 ・必修科目である「演習領域」の16単位、「研究基礎領域」の10単位を修得すること。 ・「心理学基礎領域」、「心理臨床実習科目」、「心理臨床・実践職能科目」からそれぞれ2単位以上を修得すること。 これらの要件を満たし、合計82単位以上修得すること。</p> <p>上記の要件を満たし、教養科目(本学科指定以外の教養科目を含む)、専門科目(他学科開講の専門科目を含む)を合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))</p> | | | | | | | | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 記号 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・ 兼担 | | |
|----------------|----------------|------------------------|-----|----|----|----------|---------|--------|--------|--------|-----------|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教 授 | 准 教授 | 講 師 | 助 教 | 助 手 | | | |
| 教養科目 | 基礎科目群 | 英語ⅠA | 1前 | 1 | | | | | | | 4 | | |
| | | 英語ⅠB | 1前 | 1 | | | | | | | 4 | | |
| | | 英語ⅡA | 1前 | 1 | | | | | | | 4 | | |
| | | 英語ⅡB | 1後 | 1 | | | | | | | 4 | | |
| | | 英語ⅢA | 2前 | 1 | | | | | | | 4 | | |
| | | 英語ⅢB | 2前 | 1 | | | | | | | 3 | | |
| | | 英語ⅣA | 2後 | 1 | | | | | | | 4 | | |
| | | 英語ⅣB | 2後 | 1 | | | | | | | 3 | | |
| | | 論述・作文A | 1前 | | 2 | | | | | | 2 | | |
| | | 論述・作文B | 1後 | | 2 | | | | | | 2 | | |
| | コンピュータ基礎A | 1前 | | 2 | | | | | | 2 | | | |
| | コンピュータ基礎B | 1後 | | 2 | | | | | | 2 | | | |
| | 小計(12科目) | - | | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | |
| | 人文・社会・健康・自然科目群 | 哲学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 倫理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 宗教学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 世界の言語と日本語 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 生命科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 地学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 地球の科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| 北海道史 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 日本国憲法 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 北海道社会論 | | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 教育学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 現代の福祉 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 健康科学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| スポーツと健康 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 障害学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 小計(15科目) | - | | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | | |
| キャリア科目群 | 職業と人生A | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 職業と人生B | 2前 | | 2 | | | | | | | 2 | | |
| | 職業と人生C | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 職業と人生D | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 企業の経営と仕事 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 小計(5科目) | - | | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | | |
| 専門科目 | 専修基礎科目 | 心理学 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | | 心理学概論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | | 小計(2科目) | - | | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 臨床心理基礎ゼミナールA | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | |
| | | 臨床心理基礎ゼミナールB | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | 臨床心理学概論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| | | 心理学的支援法 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールA | 2前 | | 2 | | 4 | 1 | 1 | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールB | 2後 | | 2 | | 1 | 5 | | | | | |
| | | 臨床心理学演習Ⅰ | 3前 | | 2 | | 5 | 6 | 1 | | | | |
| | 臨床心理学演習Ⅱ | 3後 | | 2 | | 5 | 6 | 1 | | | | | |
| | 小計(8科目) | - | | 16 | 0 | 0 | 7 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 心理学研究法 | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 心理学統計法 | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 感情・人格心理学 | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 心理的アセスメント | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 心理学実験 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | 2 | | |
| | 小計(5科目) | - | | 10 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | | |
| | 専修実習科目 | 心理演習 | 2前 | | 4 | | 1 | 1 | | | | 1 | |
| | | 心理アセスメント実習(知能・性格・発達検査) | 3前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | |
| 応用実習A(グループワーク) | | 2後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | 1 | | |
| 応用実習B(芸術療法) | | 3後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | 2 | | |
| 小計(4科目) | | - | | 0 | 8 | 0 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 公認心理師の職業 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| 心理実習 | 3通 | | 3 | | 1 | 3 | | | | | | | |
| 関係行政論 | 3後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| 小計(3科目) | - | | 0 | 7 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 専修科目 | 知覚・認知心理学A | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 知覚・認知心理学B | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 学習・言語心理学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | | | |
| | 神経・生理心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 小計(4科目) | - | | 0 | 8 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | 発達心理学A | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 発達心理学B | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 教育・学校心理学A | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 教育・学校心理学B | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 乳幼児心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 障害者・障害児心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 青年心理学 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | | | | |
| 小計(7科目) | - | | 0 | 14 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | | |
| 社会心理学A | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 社会心理学B | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| キャリアカウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 産業・組織心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 社会・集団・家族心理学A | 2休 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 社会・集団・家族心理学B | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| コミュニティ心理学 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| 福祉心理学 | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 小計(8科目) | - | | 0 | 16 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |

【令和元年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 記号 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・ 兼担 | | |
|----------------|----------------|------------------------|-----|----|----|----------|---------|--------|--------|--------|-----------|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教 授 | 准 教授 | 講 師 | 助 教 | 助 手 | | | |
| 教養科目 | 基礎科目群 | 英語ⅠA | 1前 | 1 | | | | | | | | 5 | |
| | | 英語ⅠB | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅡA | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅡB | 1後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅢA | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅢB | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣA | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣB | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 論述・作文A | 1前 | | 2 | | | | | | | 3 | |
| | | 論述・作文B | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 | |
| | コンピュータ基礎A | 1前 | | 2 | | | | | | | 3 | | |
| | コンピュータ基礎B | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 | | |
| | 小計(12科目) | - | | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | |
| | 人文・社会・健康・自然科目群 | 哲学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 倫理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 宗教学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 世界の言語と日本語 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 生命科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 地学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| | | 地球の科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | |
| 北海道史 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 日本国憲法 | | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 北海道社会論 | | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 教育学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 現代の福祉 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 健康科学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| スポーツと健康 | 1前後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 障害学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| 小計(15科目) | - | | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | | |
| キャリア科目群 | 職業と人生A | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 職業と人生B | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 職業と人生C | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 職業と人生D | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 企業の経営と仕事 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| 小計(5科目) | - | | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | | |
| 専門科目 | 専修基礎科目 | 心理学 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | | 心理学概論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | |
| | | 小計(2科目) | - | | 0 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 臨床心理基礎ゼミナールA | 1前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | |
| | | 臨床心理基礎ゼミナールB | 1後 | | 2 | | 2 | 1 | | 1 | | | |
| | | 臨床心理学概論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| | | 心理学的支援法 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールA | 2前 | | 2 | | 4 | 1 | 1 | | | | |
| | | 臨床心理応用ゼミナールB | 2後 | | 2 | | 1 | 5 | | | | | |
| | | 臨床心理学演習Ⅰ | 3前 | | 2 | | 5 | 6 | 1 | | | | |
| | 臨床心理学演習Ⅱ | 3後 | | 2 | | 5 | 6 | 1 | | | | | |
| | 小計(8科目) | - | | 16 | 0 | 0 | 8 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 心理学研究法 | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 心理学統計法 | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 感情・人格心理学 | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 心理的アセスメント | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 心理学実験 | 2後 | | 2 | | | 1 | | 1 | | 2 | | |
| | 小計(5科目) | - | | 10 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| | 専修実習科目 | 心理演習 | 2前 | | 4 | | 1 | 3 | 3 | | | | |
| | | 心理アセスメント実習(知能・性格・発達検査) | 3前 | | 2 | | 1 | 2 | | | | | |
| 応用実習A(グループワーク) | | 2後 | | 2 | | 2 | 2 | | | | 1 | | |
| 応用実習B(芸術療法) | | 3後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | 2 | | |
| 小計(4科目) | | - | | 0 | 8 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 公認心理師の職業 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| 心理実習 | 3通 | | 3 | | 1 | 3 | | | | | | | |
| 関係行政論 | 3後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| 小計(3科目) | - | | 0 | 7 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 専修科目 | 知覚・認知心理学A | 2前 | | 2 | | | | | | 1 | | | |
| | 知覚・認知心理学B | 2後 | | 2 | | | | | | 1 | | | |
| | 学習・言語心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 神経・生理心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 | | |
| | 小計(4科目) | - | | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | | |
|------------|----------------------|--------------|----------------|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 専門科目 | 医療福祉領域 | 社会福祉論A | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 | |
| | | 社会福祉論B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 精神保健福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 障害者福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 児童福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 精神疾患とその治療 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | トラウマと災害の心理学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | | リハビリテーション臨床 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 人体の構造と機能及び疾病 | 3休 | 2 | | | | | | | | | |
| | | 健康・医療心理学 | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | 1 | |
| | | 小計(10科目) | - | 0 | 20 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | | 心理学関連領域 | 心理療法A(探索的心理療法) | 2前 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | | 心理療法B(認知行動療法) | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | |
| 遊戯療法 | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 精神分析的心理学 | 3前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | |
| 身体心理学 | 3前 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 小計(5科目) | - | 0 | 10 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| 臨床心理学研究領域 | 心理学特殊講義A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 心理学特殊講義B | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 発達心理臨床A(幼児・児童・青年期臨床) | 2前 | 2 | | | | 2 | | | | | | |
| | 発達心理臨床B(成人・老年期臨床) | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 司法・犯罪心理学A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 司法・犯罪心理学B | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 3休 | 2 | | | | | | | | | 1 | | |
| | スクールカウンセリングの理論と実務 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 講読演習A | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 講読演習B | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | 心理学課題演習 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 裁判心理学 | 3後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 臨床心理学特別講義A | 4前 | 2 | | | 6 | 5 | 1 | | | | | |
| 臨床心理学特別講義B | 4後 | 2 | | | 6 | 5 | 1 | | | | | | |
| 小計(13科目) | - | 0 | 26 | 0 | 7 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |
| 卒業論文 | 卒業論文 | 4通 | 6 | | | 6 | 5 | 1 | | | | | |
| | 小計(1科目) | - | 0 | 6 | 0 | 6 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| 心理学関連科目 | 産業社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | ジェンダーの社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 家族社会学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 公的扶助論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 障害児・者教育論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | コミュニケーションスキル基礎 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 小計(6科目) | - | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |
| 合計(108科目) | - | 34 | 179 | 0 | 8 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 68 | | |

卒業要件及び履修方法

《教養科目》
「基礎科目群」から必修英語8単位を修得し、合計で32単位以上修得すること。
《専門科目》
・必修科目である「演習領域」の16単位、「研究基礎領域」の10単位を修得すること。
・「心理学基礎領域」、「心理臨床実習科目」、「心理臨床・実践職能科目」からそれぞれ2単位以上を修得すること。
これらの要件を満たし、合計82単位以上修得すること。
上記の要件を満たし、教養科目(本学科指定以外の教養科目を含む)、専門科目(他学科開講の専門科目を含む)を合計124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和元年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | | |
|------------|----------------------|--------------|----------------|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 専門科目 | 医療福祉領域 | 社会福祉論A | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 | |
| | | 社会福祉論B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 精神保健福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 障害者福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 児童福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 精神疾患とその治療 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | トラウマと災害の心理学 | 2後 | 2 | | | | | 1 | | | | |
| | | リハビリテーション臨床 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 人体の構造と機能及び疾病 | 3休 | 2 | | | | | | | | | |
| | | 健康・医療心理学 | 3後 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | | 小計(10科目) | - | 0 | 20 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| | | 心理学関連領域 | 心理療法A(探索的心理療法) | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | | | 心理療法B(認知行動療法) | 2後 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 遊戯療法 | 2後 | | 2 | | | | | 1 | | | | | |
| 精神分析的心理学 | 3前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | |
| 身体心理学 | 3前 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 小計(5科目) | - | 0 | 10 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| 臨床心理学研究領域 | 心理学特殊講義A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 心理学特殊講義B | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 発達心理臨床A(幼児・児童・青年期臨床) | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 発達心理臨床B(成人・老年期臨床) | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 司法・犯罪心理学A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 司法・犯罪心理学B | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 3休 | 2 | | | | | | | | | 1 | | |
| | スクールカウンセリングの理論と実務 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 講読演習A | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 講読演習B | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | 心理学課題演習 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 裁判心理学 | 3後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 臨床心理学特別講義A | 4前 | 2 | | | 6 | 5 | 1 | | | | | |
| 臨床心理学特別講義B | 4後 | 2 | | | 6 | 5 | 1 | | | | | | |
| 小計(13科目) | - | 0 | 26 | 0 | 7 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 | | |
| 卒業論文 | 卒業論文 | 4通 | 6 | | | 6 | 5 | 1 | | | | | |
| | 小計(1科目) | - | 0 | 6 | 0 | 6 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| 心理学関連科目 | 産業社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | ジェンダーの社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 家族社会学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 公的扶助論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | 障害児・者教育論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| | コミュニケーションスキル基礎 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 小計(6科目) | - | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |
| 合計(108科目) | - | 34 | 179 | 0 | 9 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 66 | | |

卒業要件及び履修方法

《教養科目》
「基礎科目群」から必修英語8単位を修得し、合計で32単位以上修得すること。
《専門科目》
・必修科目である「演習領域」の16単位、「研究基礎領域」の10単位を修得すること。
・「心理学基礎領域」、「心理臨床実習科目」、「心理臨床・実践職能科目」からそれぞれ2単位以上を修得すること。
これらの要件を満たし、合計82単位以上修得すること。
上記の要件を満たし、教養科目(本学科指定以外の教養科目を含む)、専門科目(他学科開講の専門科目を含む)を合計124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和2年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | | |
|--------------|----------------|------------------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 教養科目 | 基礎科目群 | 英語ⅠA | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅠA | 1後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅠB | 1前 | 1 | | | | | | | | 3 | |
| | | 英語ⅡB | 1後 | 1 | | | | | | | | 3 | |
| | | 英語ⅢA | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅢB | 2前 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣA | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 英語ⅣB | 2後 | 1 | | | | | | | | 4 | |
| | | 論述・作文A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 3 |
| | | 論述・作文B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 3 |
| | | コンピュータ基礎A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | コンピュータ基礎B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小計(12科目) | - | | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | |
| | 人文・社会・健康・自然科目群 | 哲学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 倫理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 宗教学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 世界の言語と日本語 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 生命科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 地学 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 地球の科学 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 北海道史 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 日本国憲法 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 北海道社会論 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 教育学 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 現代の福祉 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 健康科学 | 1前後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | スポーツと健康 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 障害学 | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小計(15科目) | - | | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | |
| | キャリア科目群 | 職業と人生A | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 職業と人生B | 2前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 職業と人生C | 3前 | | 2 | | | | | | | | 2 |
| | | 職業と人生D | 3後 | | 2 | | | | | | | | 2 |
| 企業の経営と仕事 | | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 小計(5科目) | | - | | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| 専修基礎科目 | 心理学 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | | |
| | 心理学概論 | 1前 | | 2 | | 2 | | | | | | | |
| | 小計(2科目) | - | | 0 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 臨床心理基礎ゼミナールA | 1前 | | 2 | | | 2 | 1 | | | | | |
| | 臨床心理基礎ゼミナールB | 1後 | | 2 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | 臨床心理学概論 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | 1 | | | | | |
| | 心理学的支援法 | 1後 | | 2 | | 1 | 1 | 1 | | | | | |
| | 臨床心理応用ゼミナールA | 2前 | | 2 | | 3 | 1 | 1 | | | | | |
| | 臨床心理応用ゼミナールB | 2後 | | 2 | | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | |
| | 臨床心理学演習Ⅰ | 3前 | | 2 | | 2 | 7 | 3 | 1 | | | | |
| | 臨床心理学演習Ⅱ | 3後 | | 2 | | 7 | 3 | 3 | 1 | | | | |
| | 小計(8科目) | - | | 16 | 0 | 0 | 9 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 心理学研究法 | 1後 | | 2 | | | | | 1 | | | | |
| | 心理学統計法 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 感情・人格心理学 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 心理的アセスメント | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 心理学実験 | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | | 2 | |
| | 小計(5科目) | - | | 10 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| | 専修実習科目 | 心理演習 | 2前 | | 4 | | 5 | 2 | 1 | | | | 1 |
| | | 心理アセスメント実習(知能・性格・発達検査) | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | | 1 |
| | | 応用実習A(グループワーク) | 2後 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 1 |
| | | 応用実習B(芸術療法) | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | | 2 |
| | | 小計(4科目) | - | | 0 | 8 | 0 | 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 公認心理師の職業心理実習 | 公認心理師の職業心理実習 | 1前 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 関係行政論 | 3後 | | 3 | | 4 | 2 | | | | | 1 | |
| | 小計(3科目) | - | | 0 | 7 | 0 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 専修科目 | 知覚・認知心理学A | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 知覚・認知心理学B | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 学習・言語心理学 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 神経・生理心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 小計(4科目) | - | | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | 発達心理学A | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 発達心理学B | 1後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 教育・学校心理学A | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 教育・学校心理学B | 3後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 乳幼児心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 障害者・障害児心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | | |
| 青年心理学 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | | | | |
| 小計(7科目) | - | | 0 | 14 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | | |
| 社会・産業心理学関連領域 | 社会心理学A | 2前 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 社会心理学B | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | キャリアカウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 産業・組織心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 社会・集団・家族心理学A | 2休 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| | 社会・集団・家族心理学B | 2前 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | コミュニティ心理学 | 3前 | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | 福祉心理学 | 3後 | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 小計(8科目) | - | | 0 | 16 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |

【令和2年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 記当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|-----------|-----------|----------------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 専門科目 | 医療福祉領域 | 社会福祉論A | 1前 | 2 | | | | | | | | 6 |
| | | 社会福祉論B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 精神保健福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 障害者福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 児童福祉論 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 精神疾患とその治療 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | トラウマと災害の心理学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | リハビリテーション臨床 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 人体の構造と機能及び疾病 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 健康・医療心理学 | 3後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 小計(10科目) | - | 0 | 20 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | |
| 心理学関連領域 | 心理学関連領域 | 心理療法A(探索的心理療法) | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 心理療法B(認知行動療法) | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | 遊戯療法 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 精神分析的心理学 | 3前 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | | 身体心理療法 | 3前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 小計(5科目) | - | 0 | 10 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 臨床心理学研究領域 | 臨床心理学研究領域 | 心理学特殊講義A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 心理学特殊講義B | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 発達心理臨床A(幼児・児童・青年期臨床) | 2前 | 2 | | | | 1 | | | | |
| | | 発達心理臨床B(成人・老年期臨床) | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 司法・犯罪心理学A | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 司法・犯罪心理学B | 3休 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | スクールカウンセリングの理論と実務 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | 1 |
| | | 講読演習A | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 講読演習B | 3後 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | | 心理学課題演習 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 裁判心理学 | 3後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | 臨床心理学特別講義A | 4前 | 2 | | | 8 | 3 | | 1 | | |
| | | 臨床心理学特別講義B | 4後 | 2 | | | 8 | 3 | | 1 | | |
| 小計(13科目) | - | 0 | 26 | 0 | 9 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 | |
| 卒業論文 | 卒業論文 | 卒業論文 | 4通 | 6 | | | 8 | 3 | 1 | | | |
| | | 小計(1科目) | - | 0 | 6 | 0 | 8 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 心理学関連科目 | 心理学関連科目 | 産業社会学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | ジェンダーの社会学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 家族社会学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 公的扶助論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | 障害児・者教育論 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | | コミュニケーションスキルズ基礎 | 2後 | 2 | | | | | | | | 2 |
| | | 小計(6科目) | - | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計(108科目) | - | 34 | 179 | 0 | 10 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 65 | |

卒業要件及び履修方法

《教養科目》
「基礎科目群」から必修英語8単位を修得し、合計で32単位以上修得すること。
《専門科目》
・必修科目である「演習領域」の16単位、「研究基礎領域」の10単位を修得すること。
・「心理学基礎領域」、「心理臨床実習科目」、「心理臨床・実践職能科目」からそれぞれ2単位以上を修得すること。
これらの要件を満たし、合計82単位以上修得すること。
上記の要件を満たし、教養科目(本学科指定以外の教養科目を含む)、専門科目(他学科開講の専門科目を含む)を合計124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 公認心理師法施行規則の施行に伴い、公認心理師となるために必要な科目が定められたため、以下の変更をした。
 - ・26の専門科目名称の変更を行った。
 - ・上記の名称変更に伴い、「社会・集団・家族心理学A」の科目区分を変更した。
 - ・専門科目に「公認心理師の職責」及び「障害者・障害児心理学」を新規追加した。
 - ・「心理実習」の開講年次を「3前」から「3通」とし、さらに単位数を「2」から「3」に変更した。
- 少人数教育実施のため、「英語ⅠB」、「英語ⅡB」、「コンピュータ基礎A」及び「コンピュータ基礎B」の担当教員を増員した。
- 科目教育内容の充実のため、「社会福祉論A」の担当教員を増員した。
- 前年度履修者数の減少実績から、教養科目の「生命科学」及び「北海道社会論」の配当年次を「1前後」から「1前」のみに変更した。
- 教養教育のカリキュラム見直しにより、「職業と人生Ⅰ」、「職業と人生Ⅱ」、「職業と人生Ⅲ」、「職業と人生Ⅳ」の名称をそれぞれ「職業と人生A」、「職業と人生B」、「職業と人生C」、「職業と人生D」に変更するとともに、「職業と人生A」の担当教員を3名から1名に変更した。
- 授業運営の都合により「心理学」の開講年次を「1前」から「1後」に、「心理学概論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更した。

【令和元年度】

- 少人数教育実施のため、次の科目の担当教員を増員した。
 - ・「英語ⅠA」、「英語ⅡA」、「英語ⅢB」、「英語ⅣB」、「論述・作文A」、「論述・作文B」
- 科目教育内容の充実のため、次の科目の担当教員を増員した。(括弧内は増員した人数)
 - ・「心理学概論」(1名)、「心理学実験」(1名)、「心理演習」(3名)、「応用実習A(グループワーク)」(1名)、「心理療法B(認知行動療法)」(1名)、「スクールカウンセリングの理論と実際」(1名)
- 教育体制の見直しにより、次の科目の担当教員数を変更した。
 - ・「職業と人生B」、「心理学的支援法」及び「発達心理臨床A(幼児・児童・青年期臨床)」(それぞれ2名から1名に変更)
 - ・「臨床心理応用ゼミナールA」及び「臨床心理応用ゼミナールB」(それぞれ6名から4名に変更)
- 授業運営の都合により「ジェンダーの社会学」の開講年次を「2前」から「2後」に変更した。

【令和2年度】

- 令和2年度入学人数確定に伴うクラス数の適正化により、次の科目の担当教員数を変更した。
 - ・「英語ⅠA」、「英語ⅡA」(それぞれ5名から4名に変更)
 - ・「英語ⅠB」、「英語ⅡB」(それぞれ4名から3名に変更)
- 教育体制の見直しにより、次の科目の担当教員数を変更した。
 - ・「コンピュータ基礎A」(2名から1名に変更)、「コンピュータ基礎B」(2名から1名に変更)、「心理学実験」(4名から3名に変更)、「心理アセスメント実習(知能・性格・発達検査)」(3名から2名に変更)、「応用実習A(グループワーク)」(3名から2名に変更)、「社会福祉論A」(7名から6名に変更)、「心理療法B(認知行動療法)」(2名から1名に変更)
- 科目教育内容の充実のため、次の科目の担当教員を増員した。(括弧内は増員した人数)
 - ・「職業と人生C」(1名)、「職業と人生D」(1名)、「心理演習」(1名)、「心理実習」(2名)、「コミュニケーションスキルズ基礎」(1名)
- 専任教員の留学研究に伴い、「臨床心理学演習Ⅰ」、「臨床心理学演習Ⅱ」の担当者数をそれぞれ「12名」から「11名」に変更した。
- 授業運営の都合により以下の科目の開講年次を変更した。
 - ・「スポーツと健康」(「1前後」から「1後」に変更)、「心理実習」(「3通」から「3後」に変更)、「教育・学校心理学B」(「3前」から「3後」に変更)、「障害者・障害児心理学」(「2前」から「2後」に変更)、「リハビリテーション臨床」(「3休」から「3前」に変更)、「ジェンダーの社会学」(「2前」から「2後」に変更)

【令和3年度】

- 教育体制の見直しにより、次の科目の担当教員数を変更した。
 - ・「論述・作文A」及び「論述・作文B」(それぞれ3名から2名に変更)、「コンピュータ基礎A」及び「コンピュータ基礎B」(それぞれ1名から3名に変更)
- 授業運営の都合により以下の科目の開講年次を変更した。
 - ・「北海道史」(「1前後」から「1後」に変更)、「健康科学」(「1前後」から「1前」に変更)、「スポーツと健康」(「1後」から「1前」に変更)、「乳幼児心理学」(「2後」から「2休」に変更)、「心理学課題演習」(「3前」を「3後」に変更)
- 教育体制の見直しにより、次の科目の担当教員数を変更した。
 - ・「職業と人生C」及び「職業と人生D」(それぞれ2名から1名に変更)、「心理演習」(7名から6名に変更)、「心理実習」(6名から7名に変更)、「産業・組織心理学」(1名から2名に変更)、「社会福祉論A」(6名から5名に変更)、「心理療法B(認知行動療法)」(1名から2名に変更)、「臨床心理特別講義A」及び「卒業論文」(12名から11名に変更)

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|----|----|------|------|------|-----|------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計(A) | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 21 | 85 | 0 | 106 | 21 | 87 | 0 | 108 | |
| | 科目 | 科目 | 科目 | | 科目 | 科目 | 科目 | |
| | | | | [0] | [+2] | [0] | [+2] | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-------------------------|
| 1 | 生命科学 | 2 | 1前 | 教養 | 選択 | 担当者の都合による。令和4年度以降は開講する。 |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 <該当なし>

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当初予定していた担当者の都合により開講できなくなり、代替の担当者を探したが、適任者を見つからず未開講とした。令和4年度以降は開講し、学生の履修機会を確保する。
学生に対しては、新学期的履修ガイダンス等で周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{106} = \boxed{0.94} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 | | | |
|---------------------|------------------------------------|--|------------------------------------|------------------------------------|--|---|--------------------------------------|----------|---|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | ・運動場用地は校舎敷地と別地 (徒歩約5分、約0.6km) ・新たな校地(新札幌キャンパス)を取得したため(3) | | | |
| | 校舎敷地 | 121,044.37 m ² 113,049.71 m² | 0 m ² | 0 m ² | 121,044.37 m ² 113,049.71 m² | | | | |
| | 運動場用地 | 61,938.45 m ² | 0 m ² | 0 m ² | 61,938.45 m ² | | | | |
| | 小 計 | 182,982.82 m ² 174,988.16 m² | 0 m ² | 0 m ² | 182,982.82 m ² 174,988.16 m² | | | | |
| | そ の 他 | 16,862.97 m ² 13,397.84 m² | 0 m ² | 0 m ² | 16,862.97 m ² 13,397.84 m² | | | | |
| | 合 計 | 199,845.79 m ² 188,386.00 m² | 0 m ² | 0 m ² | 199,845.79 m ² 188,386.00 m² | | | | |
| (2) 校 舎 | | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | ・新たな校舎(新札幌キャンパス)を取得したため(3) | | | |
| | | 51,567.88 m ² 39,941.78 m² (39,941.78 m ²) | 0 m ² | 0 m ² | 51,567.88 m ² 39,941.78 m² (39,941.78 m ²) | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 演 習 室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | ・江別キャンパス ・研究室を実験実習室に変更(30) ・講義室を事務室に変更(元) ・実験実習室及び研究室を演習室に変更(元) | | | |
| | 45-46室 | 46-44室 | 27-28-27室 | 8室 (補助職員 0人) | 2室 (補助職員 0人) | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | 室 数 | | ・平成31年4月に就任する専任教員3名分の研究室が未整備のため(30) ・専任教員3名が就任したため(元) ・専任教員1名が定年退職したため(2) | | | |
| | 心理学部 臨床心理学科 | | | 14 15 12 15 室 | | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の名称 | 図 書 〔うち外国書〕 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 | 機械・器具 | 標 本 | | |
| | | 冊 | 種 | 〔うち外国書〕 | 点 | 点 | 点 | | |
| | | 心理学部 臨床心理学科 | 16,200 [2,500] (15,955 [2,412]) | 791 [687] (791 [687]) | 673 [671] (673 [671]) | 160 (160) | 400 (395) | 0 (0) | |
| 計 | 16,200 [2,500] (15,955 [2,412]) | 791 [687] (791 [687]) | 673 [671] (673 [671]) | 160 (160) | 400 (395) | 0 (0) | | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閲 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | ・大学全体 ・<閲覧座席数・収納可能冊数>新札幌分館を開館したため | | |
| | 5,509.14 4,302.43 m ² | | 744 474 | | 800,000 604429 | | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | ・大学全体 | | |
| | 6,088.66 m ² | | テニスコート5面、弓道場、室内練習場 他 | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | ・《図書費購入費》電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。 ・《共同研究費等》大学全体 ・《設備購入費》購入品の見直しのため(30) ・《納付金》教育研究環境維持のため、平成31年4月入学生から値上げしたことによる(元) ・《納付金》教育研究環境維持のため、令和3年度入学生から値上げしたことによる(3) |
| | | 教員1人当り研究費等 | 450千円 | 450千円 | 図書購入費 | 6,700千円 | 6,700千円 | 6,700千円 | |
| | 共同研究費等 | 3,000千円 | 3,000千円 | 設備購入費 | 714千円 | 700-800千円 | 800千円 | | |
| | 学生1人当り納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | |
| | | 1,070千円 1,040千円 1,032千円 | 950千円 920千円 900千円 | 950千円 920千円 900千円 | 950千円 920千円 900千円 | -千円 | -千円 | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | | | | | 私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、手数料収入等 | | | |

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 札幌学院大学 | | | | | | 学生募集停止学科数 | 4 | 平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数 | 0 | 備考 |
|--------------------|-----------|------|-------|-------|-----------------|-----------|--------------|-------------------|---------------------|--------------------|--------------|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 令和3年度入学定員超過率 | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | 倍 | 年度 | 年度 | | |
| 経済経営学部 | 4 | 300 | - | 1,200 | - | 1.12 | 1.12 | - | 令和3 | - | |
| 経済学科 | 4 | 150 | - | 600 | 学士(経済学) | 1.10 | 1.10 | - | 令和3 | 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1 | |
| 経営学科 | 4 | 150 | - | 600 | 学士(経営学) | 1.14 | 1.14 | - | 令和3 | | |
| 経営学部 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | 平成21 | | - |
| 経営学科 | 4 | - | - | - | 学士(経営学) | - | - | - | 平成21 | 同上 | 令和3年度学生募集停止 |
| 会計ファイナンス学科 | 4 | - | - | - | 学士(経営学) | - | - | - | 平成21 | 同上 | |
| 経済学部 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | 平成3 | - | |
| 経済学科 | 4 | - | - | - | 学士(経済学) | - | - | - | 平成3 | 同上 | 令和3年度学生募集停止 |
| 人文学部 | 4 | 230 | - | 920 | - | 0.89 | 0.93 | - | 昭和52 | - | |
| 人間科学科 | 4 | 130 | - | 520 | 学士(人文学) | 0.75 | 0.83 | - | 昭和52 | 江別市文京台11番地 | |
| 英語英米文学科 | 4 | 50 | - | 200 | 学士(人文学) | 1.21 | 1.06 | - | 昭和52 | 同上 | |
| 臨床心理学科 | 4 | - | - | - | 学士(臨床心理学) | - | - | - | 平成13 | 同上 | 平成30年度学生募集停止 |
| こども発達学科 | 4 | 50 | - | 200 | 学士(人文学) | 0.95 | 1.10 | - | 平成18 | 同上 | |
| 心理学部 | 4 | 95 | - | 380 | - | 1.00 | 0.85 | - | 平成30 | - | |
| 臨床心理学科 | 4 | 95 | - | 380 | 学士(臨床心理学) | 1.00 | 0.85 | - | 平成30 | 同上 | |
| 法学部 | 4 | 150 | - | 600 | - | 0.91 | 0.93 | - | 昭和59 | - | |
| 法律学科 | 4 | 150 | - | 600 | 学士(法学) | 0.91 | 0.93 | - | 昭和59 | 同上 | |
| 大学全体 | - | 775 | - | 3,100 | - | - | - | - | - | - | |
| 大学の名称 | 札幌学院大学大学院 | | | | | | 学生募集停止学科数 | 0 | 平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数 | 0 | 備考 |
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 令和3年度入学定員超過率 | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | 倍 | 年度 | 年度 | | |
| 法学研究科 | 2 | 15 | - | 30 | 修士(法学) | 0.36 | 0.33 | - | 平成7 | 江別市文京台11番地 | |
| 法学専攻(修士課程) | | | | | | | | | | | |
| 臨床心理学研究科 | 2 | 10 | - | 20 | 修士(臨床心理学) | 0.25 | 0.20 | - | 平成12 | 同上 | |
| 臨床心理学専攻(修士課程) | | | | | | | | | | | |
| 地域社会マネジメント研究科 | 2 | 20 | - | 40 | 修士(地域社会マネジメント学) | 0.15 | 0.20 | - | 平成15 | 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1 | |
| 地域社会マネジメント専攻(修士課程) | | | | | | | | | | | |
| 大学全体 | - | 45 | - | 90 | - | - | - | - | - | - | |

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 附 帯 事 項 等 | 履 行 状 況 | 今後の の実施計画 |
|------------------------------|---|--|--|
| 届 出 時 (平成29年) | 経営学部会計ファイナンス学科、経済学部経済学科、人文学部人間科学科及び法学部法律学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 | 留意事項 留意事項が付された4学科のうち、経済学部経済学科及び法学部法律学科の2学科は定員充足率の平均を伸ばし、それぞれ0.79倍、0.74倍となった。一方、経営学部会計ファイナンス学科及び人文学部人間科学科は、それぞれ0.50倍、0.58倍という結果になっている。(30) | 未履行となっている2学科（経営学部会計ファイナンス学科、人文学部人間科学科）については、特色ある教育内容の広報強化によって学生確保に引き続き努めるほか、学科再編も含めた入学定員の見直しについて検討を行う。(30) |
| | | 平成30年度に履行できなかった経営学部会計ファイナンス学科及び人文学部人間科学科の定員充足率は、それぞれ0.51倍、0.59倍となっている。(元) | 引き続き、特色ある教育内容の広報を強化し、学生確保に努める。また、学科再編も含めた入学定員の見直しについても具体的な検討を行う。(元) |
| | | 令和元年度に履行できなかった経営学部会計ファイナンス学科及び人文学部人間科学科の定員充足率は、定員充足率の平均を伸ばし、それぞれ0.77倍、0.71倍となった。(2) | 履行済(2) |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年) | <該当なし> | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年) | <該当なし> | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年) | <該当なし> | | |

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 臨床心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
| <該当なし> | |

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

組織的なFD活動の支援及び実施を目的とした「FDセンター」を置き、センターを運営するために「FD委員会」を設けている。メンバーはセンター長（副学長）、教務部長、各学科長等で構成している。

（別紙「札幌学院大学FDセンター規程」を添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【2020年度実績】

<第1回FD委員会(2020/5/19開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2020年度FDセンター事業計画（案）について
- 2020年度FD活動を推進するための活動補助事業の申請結果並びに採択（案）について

《報告事項》

なし

<第2回FD委員会(2020/6/22開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2020年度前期 授業評価アンケートについて
- 2020年度FD活動推進補助事業の再募集結果について
- 2020年度札幌学院大学における「SDの基本方針及び実施計画」について

《報告事項》

- アクセシビリティ委員会よりFD・SD研究会開催について

<第3回FD委員会(2020/11/6開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2021年度FDセンター予算案について

《報告事項》

- 人間科学科のSA活用報告について
- 学生相談室前期活動報告・情報交換会FD/SD研修報告について

<第4回FD委員会(2020/12/17開催)> 委員10名（メール配信による持ち回り開催）

《審議事項》

- 2021年度FDセンター予算第一次査定通知に伴う復活要求について
- 2020年度授業評価アンケート結果を活用した取組報告会（案）について
- 2020年度「FDフォーラム-遠隔授業を終えて-」開催（案）について

《報告事項》

- 2020年度学生相談室主催FD・SD研修/遠隔授業に伴う学生支援と心のケア

<第5回FD委員会(2021/3/9開催)> 委員10名中出席者9名(オンライン会議)

≪審議事項≫

1. 2021年度FDを推進するための活動補助事業の募集について
2. 2020年度事業実績報告について

≪報告事項≫

1. 2021年度予算に係る最終査定について
2. 授業評価アンケートを活用した取組み報告会の実施報告について
3. FDフォーラム-遠隔授業を終えて-の実施報告について
4. 2020年度学生相談室主催FD・SD研修/遠隔授業に伴う学生支援と心のケアの研修報告について
5. 2020年度「FDを推進するための活動補助」の活動報告について

c 委員会の審議事項等

- (1) 学生による授業評価、授業経験交流会等の各学部学科・各研究科のFDの取組みの現状把握及びそれに対する支援・助言・情報提供
- (2) 教職員研修、新任教員オリエンテーション、講演会等の大学全体のFDの取組みの実施
- (3) 教育の質的向上に資する諸施策(プロジェクト)の企画・立案及びそれに関連する情報の収集
- (4) FDについての啓発活動及び情報公開(ニュース、活動報告書等の編集・発行)
- (5) カリキュラム改善や教育改善に対する提言
- (6) 他大学とのFDに関する連携
- (7) FDのための予算に関する事項
- (8) その他、センターの目的達成のために必要な事項

② 実施状況 ((1)~(3)を対比させて記述しています)

a 実施内容

- (1)FD研究会
- (2)先駆的な教育改善取組の予算的支援
- (3)授業改善に有用な啓発活動及び情報公開

b 実施方法

- (1)FD委員会が企画し、メールや学内パンフレットで教員へ案内して開催する。
- (2)教授法(教育方法)の改善に取り組む個人あるいはチームを募り、申請内容をFD委員会にて審査・選定する。
- (3)ホームページを立ち上げ、授業改善に関する情報を発信する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- (1)以下のテーマでFD研究会を開催した。

①2020年9月2日開催(31名参加)

テーマ:「発達障がいのある学生への教育支援」

②2021年2月12日開催(44名参加)

テーマ:「授業評価アンケートを活用した取組み報告会」

③2021年2月15日開催(57名参加)

テーマ:「遠隔授業に伴う学生支援と心のケア」

④2021年2月19日開催(61名参加)

テーマ:「FDフォーラム-2020年度の遠隔授業を終えて-」

- (2)2020年度は1件の応募があり、これを採択した。

(「できたことノート」の活用による新入生の学修適応推進)

- (3)「シラバス作成ガイドライン」「文章指導の手引き」「アクティブラーニング環境活用ガイドライン」「他大学等が提供する参考資料」「本学が所蔵するFD関連図書」等を紹介している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1)本学学生の実情や対応方法、他大学のFD活動の状況を学内へ還元している。
- (2)積極的に授業改善に取り組もうとする教員の動機づけを促すとともに、実践の中から得たノウハウや知見を全学的に共有することによって、大学全体の教育の質向上を図っている。

(3) 必要なときに必要な情報を受け取れるので、教員から学生への還元をスムーズに実行できている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

2020年度は2回（前期7月、後期12月）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各教員に対しては、担当する授業の結果を個別に通知。
- ・学生に対しては、「各課程の全体集計結果」、「個別科目集計結果」、「教員からのコメント」を学内HPで公開。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

<該当なし>

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理学部臨床心理学科は、「臨床心理学を中心にして、教育学、精神医学、人間科学などの心理臨床に関連する他分野も併せて学びつつ、さまざまな人間の心の問題の理解と適切な援助を行えるような人材を育成する。特に、臨床現場における実践家としての基礎的教育を提供し、地域社会に貢献できる心理臨床の知識と技能を習得する」ことを目的としている。

この目的を達成するため、以下の3点を到達点として据え、ディプロマ・ポリシーに掲げて教育を展開している。

- (1) 人間と人間を取り巻く環境についての幅広い基礎知識の上に、臨床心理学の専門的知識を修得していること。
- (2) 社会の様々な現場や職域における人間心理の理解に基づいて、総合的あるいは専門的心理領域における「心理コミュニケーション力」を修得するとともに、臨床心理学における倫理観のもと、適切な援助を行うための基礎となる総合的あるいは専門的心理領域における「心理的援助スキル」を修得していること。
- (3) 臨床心理学の多面的で専門的な学びとともに、心理学に隣接し人間と社会の多様性に関わる総合的な理解を修得していること。

この到達点を達成するため、以下の教育が展開できていると考えている。

- (1) 専門科目の「専修基礎科目」に15科目30単位を配置し、そのうち13科目26単位を必修科目にすることで、臨床心理学の基礎知識、専門的知識の修得を確実なものとしている。
- (2) 「心理臨床実習科目」4科目10単位と、「心理臨床・実践職能科目」3科目7単位からなる「専修実習科目」を配置し、「心理コミュニケーション力」と「心理的援助スキル」の実践的な養成を行っている。
- (3) 上記のほかに7領域からなる「専修科目」を配置し、臨床心理学とその展開を構成する多様な領域に接し多面的かつ専門的な理解力を養成している。また、「心理学関連科目」では、心理学に隣接する諸分野について学びを深め、人間と社会との関係について総合的に理解する力を育成している。

さらに、新たな国家資格である「公認心理師」の養成にも対応させ、学生や社会のニーズに即した実践的なカリキュラムとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年9月 公表予定

b 公表方法

- ・「自己点検・評価年次報告書（PDF版）」を刊行し、大学評価委員及び自己評価実施部会構成員へを配付
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和3年9月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、手続きを進行中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。